

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2014～2015年度 国際ロータリー ゲイリー C.K. ホァン 会長テーマ

Light Up Rotary ロータリーに輝きを

創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 杉浦 芳一
幹事 伊藤 節夫
会報委員長 關 淳之

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2873回例会プログラム

[当年度=24回目；当月=2週目]

2015年（平成27年）2月9日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……〈副会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱……我等の生業
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 食事

- 12:45 7. 副会長挨拶並びに副会長報告
8. 幹事報告
9. 出席報告
10. 委員会報告
11. ニコニコボックス報告
12. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(2/16) ……

卓話

講師 地区職業奉仕委員会

前委員長 村井總一郎 様

(豊橋 RC)

(紹介者 加藤 哲也 会員)

(2/23) ……

クラブフォーラム (国際奉仕委員会)

講師 地区補助金委員会

副委員長 中村 公彦 様

(名古屋名東 RC)

(紹介者 鈴木文三郎 会員)

13:00 13. 本日のプログラム

卓話 「オリンピックと私」

講師 元日本生命野球部監督

バルセロナ銅メダリスト

アトランタ銀メダリスト

杉浦 正則 様

(紹介者 塙 栄一 会員)

14. 謝辞

15. 点鐘……〈副会長〉

16. 閉会宣言

13:30 17. 散会

ビ ジ タ ー

加藤 知成 様 (東知多 RC)

出 席

会員総数 94名 出席免除 23名

出席義務者+免除者の内例会出席者 88名

欠席 9名 出席率 89.77%

前々回 (1/26) の修正出席率 100%

副 会 長 報 告

1) 次年度地区に出向される方の委嘱状が届いています。



〈海外偉人の格言・名言〉

津田 鎮輔



ジョン・フィッツジェラルド・ジャックといえば、ケネディ大統領！ そうです…JFKです。

本日は、1961年第35代米国大統領の就任演説での歴史的感動の名言です。

Don't ask! What your country can do for you.

貴方の国があなたに何をしてくれるかを求めてはいけません。

Ask! What you can do for your country.

あなた自身が国に何が出来かを問いなさい。

…答えが出たらそれを実行してみてください。

我々の納めた税金で国を動かしているんだとか、

我々が投票して大統領になれたんだ…などのいろんな思いから、

人はとかく、お上に全てを丸投げして、自分達の生活の舵を握らせて世の中の景気（生活レベル）が良いと感じたときは、自分達の手柄のように振舞って悪いと感じたときは、お上の舵取りのせいだと責任を押し付ける。こういう国民では、国家は衰退して行くと言っています。

主体性を持って、物事に取り組んでいく人。

物事の状況に、ただ反応していきだけの人生を送る人を比較すると率先して取り組む人と、そうでない人とは天地ほどの差が出て来るものだ。これを聞いて『ケネディが国民に責任を押し付けた』と考える人は人としてとても哀れです。

ケネディ大統領の思いは…。

『全ての国民に充実した人生を送って欲しい』という思いから出た言葉でした。

彼のこのような思いは、何時から培われたのか？…という話が有るそうです。生まれて物心ついたときには、両親に褒めてもらいたい、役に立ちたい、喜んで欲しい。とそう思い…。

兄・二人の弟・そして妹の兄弟達に、友人達に、妻に、子にとそう思う対象に相手がどんどん増えて行ったのだそうです。

そして大統領に就任したこのときには、国に（国民に）対して何が出来かと思った。『みんなのためになるかどうか』を考えて生きてきたのだらうと言われております。

「オリンピックと私」

元日本生命野球部監督

バルセロナ銅メダリスト

アトランタ銀メダリスト

杉浦 正則 様



オリンピックの歴史と自分の携わった経験の話をさせていただきます。刈谷ロータリーの皆様におかれましては東京オリンピックの野球競技復活へのご理解と応援宜しく申し上げます。

私は和歌山の出身で、小学校3年から軟式野球をはじめました。橋本高校で県大会優勝、近畿ベスト4でしたが甲子園出場は果たせませんでした。同志社大学に進み、4年の時に全国優勝できました。チームメートの後輩に片岡選手（阪神）や宮本

選手（ヤクルト）がおり、ライバル立命館にメジャーにいった長谷川選手がいました。その後、日本生命野球部に入り、バルセロナ、アトランタ、シドニーと3回のオリンピックに出場しました。

オリンピックの野球競技についての歴史を申し上げますと、84年のロサンゼルス公開競技で金メダル、88年ソウル公開競技で銅メダル、その後92年のバルセロナで正式種目となり銅メダル、96年アトランタで銀メダル、00年シドニーでプロアマ混合で4位、04年アテネで銅メダル、08年北京で4位、12年ロンドンではオリンピック競技から除外されました。皆さん、これ以外にオリンピックで野球が行われたことがあることをご存じでしょうか？ 実は64年の東京オリンピックの公開競技で全米、全日本社会人、全日本学生選抜で行われています。社会人は日通、学生は駒沢大のユニフォームだったそうです。

84年のロサンゼルスでは、実は日本は予選敗退していたのですが、キューバのボイコットで追加参加でき優勝しました。

88年のソウルでは、ジム・アボット投手の米国に敗れました。

92年のバルセロナでは自分も出場し、チームには小久保選手や小松山選手がいました。小久保選手は唯一の学生で、皆のユニホームの洗濯をさせられていましたが、その間もバットを持って素振りをしていました。準決勝で小松山選手先発で同点で迎えた6回、自分がリリーフで出ました。調子がよく、150キロ位出ていたのではないかと思います。シュート回転で真ん中に球が集まってしまいホームランを複数打たれて敗れました。一人落ち込んで部屋に籠っていると、全ての選手が「明日の3位決定戦はチーム最後の試合だからベストを尽くそう」と声をかけにきてくれました。3位決定戦は米国に勝ちました。チームが一つになった瞬間でした。

96年のアトランタでは松中選手や井口選手などドラフト1位確定クラスがずらりと揃いましたが、一人一人が目立とうとしてチームとしてはバラバラな感がありました。しかし、予選で1勝3敗と土壇場に立った時、変化が起きました。4番松中選手が10球ファールで粘りフォワボールを選び、ベンチに向かって小さくガッツポーズをしたのです。これでチームが一つになりました。準決勝の米国戦では先発投手が予想できたのでビデオで研究しました。グローブから出している人差し指が動くと、球種がチェンジアップ系であることがわかりました。先発を打ち込んで11対2で大勝しました。決勝のキューバ戦では両チーム10本を超えるホームランが飛び交う死闘となりましたが9対13で惜しくも敗れ銀メダルとなりました。私は、準決勝・決勝連投となりましたが、強豪キューバ相手の連投は正直きつかったです。

00年のシドニーでは自分が主将を務め、初のプロアマ混合チームでした。プロがリーグ戦の最中のため、チームとしての練習が事前にできず、プロが入るポジションには代わりに大学生に入ってもらって練習しました。野球はチームプレーの要素が大きくなかなか調子が上がりませんでした。ただ、直前になって急速に一体感が醸成できたのが、それは「飲みニケーション」がよかったと思います。メダルには一歩届かず4位に終わりました。負けた後、プロもアマも全ての選手が悔しくて号泣したのが記憶に強く残っています。

04年のアテネは長嶋ジャパンのはずが長嶋監督が脳梗塞で倒れたため中畑コーチが指揮を執りました。研究されて2度オーストラリアに負けたことが響き銅メダルに終わりました。

08年の北京では、ダルビッシュ、田中、川上などの投手を擁するドリームチームでしたが、全勝を目指して初戦のキューバ戦にエース・ダルビッシュを使い、結果的に敗れてしまった上に、準決勝などのポイントでダルビッシュを万全な状態で使えないことが響いて4位に終わりました。初戦の予定外の敗戦から気持ちを切り替えられなかったことが大きかったと、後輩から聞きました。この大会をもって野球が正式種目から外れてしまいました。

20年東京五輪での野球の復活の可能性ですが、十分可能性はあるものの幾つかクリアしないといけない問題もあります。参加選手数1万500名と上限が決まっているのですが、現在既に上回っています。野球、女子ソフトボール、空手などを追加しようとする、その分ほかの競技の選手を減らさないといけないのです。また、五輪は決まった広告以外が出せない、例えば東京ドームで行うとして、長嶋茂雄氏のセコムはじめすべての広告を消すか隠すかの対応が必要となります。

東京五輪はせっかくの機会ですので、皆様競技場に直接観戦に行ってみて頂きたいです。各競技はもちろん、開会式の緊張感、閉会式のフレンドリーな雰囲気なども見どころです。各国の応援も様々で、日本では珍しいウェーブやペインティングなども楽しめます。競技ごとのピンバッチ収集も世界で人気です。

以上、色々と経験をもとにお話しさせて頂きましたが、刈谷ロータリーの皆様に野球に関心を持って頂き、東京五輪での野球復活にご支援ご理解を賜れば幸いです。また、野球復活がかなった暁には、実際に野球の応援に参加頂ければ嬉しく思います。御清聴ありがとうございます。